

日仏翻訳文学賞

第20回記念シンポジウムが開催されました

2015年7月11日(土)日仏会館において“日仏翻訳文学賞第20回記念シンポジウム”が開催されました。フランス文学界では言わずと知れた著名な先生方によるシンポジウムとあって会場は終始満員御礼！大盛況のうちに幕を閉じました。

プログラム

基調講演

宮下志朗氏（放送大学教授）

ディスカッサント：荻野アンナ氏（慶応大学教授）

対談（作家と翻訳者）

フィリップ・フォレスト氏（作家 ナント大学教授）

澤田直氏（立教大学教授）

パネルディスカッション（翻訳文化をめぐって）

野崎歓氏（東京大学教授）

堀江敏幸氏（作家、早稲田大学教授）

パトリック・ドゥヴォス氏（東京大学教授）

セシル・坂井氏（パリ第7大学教授）

関連の書籍



会場の様子



小西国際交流財団の主たる事業であります「日仏翻訳文学賞」は、過去2年間に出版された日仏間のすぐれた翻訳作品の顕彰を行い、2015年で第20回を迎えました。

その記念すべきシンポジウムにフランス文学界では名の知れた、著名な先生方にお集まり頂き、基調講演、作家と翻訳者の対談や翻訳文化をめぐってのパネルディスカッションなど、翻訳をテーマとした貴重なお話を披露して頂きました。

シンポジウム当日は予想を上回る方々にご参加頂き、会場の外に椅子が設置され、会場内をモニターでご覧頂くことになるほどの盛況ぶりでした。

これからも翻訳を通じた日仏文化交流をさらに発展させるべく、1年でも長くこの文学賞を存続させ、次世代へ継承できることを願っております。

お祝いのお花を頂きました。
ありがとうございます。

